

凡例 ① 所在地 ② 申請者 ③ 階数 ④ 住戸数 ⑤ タイプ



ソフト+認定

大倉山フラット

基本情報

- ① 港北区大豆戸町
- ② 大倉山フラット管理組合
- ③ 地上7階
- ④ 47戸
- ⑤ 既存・分譲



ソフト+認定の概要

【防災組織】

管理組合理事会の専門部会として防災委員会を結成

【防災マニュアル】

建物構造を考慮し、在宅避難できない場合についても想定して作成
対策本部が立ち上がる前に、災害時に在宅している居住者で初動ができるように「ファーストミッションBOX」を用意

【防災訓練】

夕刻に共有廊下の電気を消灯して避難訓練を実施（令和4年度）

【飲料水等の備蓄】

各家庭で最低3日分の水・食料・トイレパック・生活必需品を備蓄

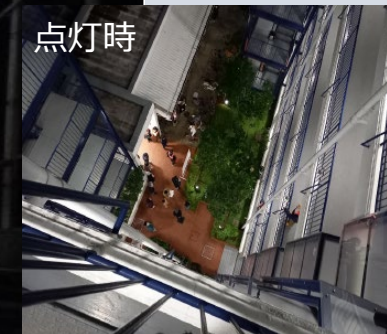
【地域との防災訓練】

大豆戸小学校地域防災拠点運営委員会として、地域防災拠点の立上訓練を実施（令和4年度）

消灯時



点灯時



▲夕刻の防災訓練（共用廊下から中庭を見下ろした写真）

秀堂 氏名 2023年2月28日(改定)

大倉山フラット 自主防災組織と防災マニュアル



- もくじ 建物概要 はじめに
1. 各住戸の事前の取り組み (自動)
 2. 大倉山フラットの事前の取り組み (共助)
 3. 対策本部 (自主防災組織) の取り組み
 4. 発災時の各住戸の活動
 5. 発災時の大倉山フラットの活動
 6. 防災委員会/自主防災組織連絡体制
 7. 他 様式集
- 横浜市わいわい防災マップによる地震・洪水時の
被害想定とファーストミッションBOX設置

大倉山フラット管理組合理事会/防災委員会編集



▲ファーストミッションBOX

▲防災マニュアル